



『 子は親の鏡 』（ 家庭教育の大切さ ）

ドロシー・ロー・ノルト著の「子どもが育つ魔法の言葉」からの引用文をご紹介します。
昨年度も、学校通信でお伝えしました。

お子さんの健やかな成長のために、親の関わり方の重要性を伝えている言葉です。

「子どもが育つ魔法の言葉」で参考になるものがあれば、お子さんとの時間(関わり)に生かしていただければと思います。

『 子は親の鏡 』（「子どもが育つ魔法の言葉」(ドロシー・ロー・ノルト著)より)

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは、「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てれば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

